

日本経済新聞

9月14日

金曜日



通気調整ゼッケン

アイ・サム、量産化を可能に

マラソン大会などスポーツイベントでの時間計測会社、アイ・サム（札幌市）は通気性を調整できる不織布製のゼッケンを開発した。写真。かまぼこ形の切れ目が26個入っており、天候に応じてあけて使う。腹背部に外気が入ることで、夏場のランナーなどはコンディションを維持しやすい。開発には北海道立総合研究機構工業試験場が協力

切れ目は縦7ミリ、横1センチの大きさで、4列に配置。ビンゴゲームのカードのように、生地の切り込み部分をゼッケンの裏側に倒して使う。倒した生地が、つつかい棒の役目を果たし、風通しを確保する。

不織布製のゼッケンは丈夫で印刷しやすいが、

通気性が悪かった。マラソンチームで体調を崩す初心者ランナーが増えており、新ゼッケンの需要は大きいとみている。同社は過去に通気口とくぼみを備えたゼッケンを開発したが、くぼみ作製が難しく量産できなかつた。今回は切れ目を入れた仕様とし、前回の10倍となる1日あたり5000枚の作製が可能となった。加工代も前回の1割を削減した。大型の大会に対応できるようにするため、1万人以上が参加する全国のマラソン大会で採用を目指す。